

障害福祉施設5施設にヒアリング調査(自由意見まとめ)

実施日：令和2年10月7日から9日

対象：市内の障害福祉施設5施設に（内訳：入所施設1、通所施設4）

施設の事情
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所では、作業が中心である。 ・クリスマス会で歌を歌ったりすることはあるが、うちは就労移行支援、就労継続支援B型であり、クッキーづくりと内職をしている。職業訓練で忙しく、余暇活動の時間がない。
不満・苦情
<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭（4施設が展示）しか、皆さんに知ってもらう機会がない。 ・共生は、小学校区などの地域の中の更に小さな枠で助け合い育んでいくもの。市域全体では大き過ぎる。 ・湊川短期大学の福祉学科がなくなり、教授や学生がいなくなってしまったので、指導員の確保が難しくなった。 ・新型コロナの影響で作品づくりや音楽クラブなどの事業所間交流ができなくなった。 ・音楽や太鼓は不揃いなりにも素晴らしさがある。好きに描いたような絵でも、その思いを理解してくれる人もある。中には光る才能を持つ入所者もいる。 ・発表に呼ばれて行っても、集団で行くと他の人と話す機会もない。日常を見てほしい。 ・障害者の作品となると、障害者に関心のある人しか見てくれない。
希望・要望
<ul style="list-style-type: none"> ・普段から展示するところがあるとよい（書道、ちぎり絵） ・市役所内での展示機会があればいい。 ・作品を展示する場所がない。どこかにスペースを確保したい。 ・障害のある人の作品を集めて展示する場を作りたい・ ・「障害者の美術館」など、市で場所を用意してほしい。福祉センターでは無料で展示させていただいている。

- ・障害者枠ではなく、皆と一緒にさせてもらうのがよかった（ファミリースポーツカーニバル、マラソン）。共に生きるに繋がっていく。一緒にやれることを見つけ出してほしい。マラソンに参加するのを皆楽しみにしている。
- ・講師派遣をお願いしたい
- ・市民センターの利用を登録団体以外にも認めてほしい。 ⇒ 利用できる。
- ・障害のある人、ない人の合同美術展を開きたい。アルゼンチンでは芸術家と失語症の方が描いた絵が美術館と一緒に飾られていた。市民センターでもグループ毎に展示されている。垣根を取り払って展示するのが私の夢。総合文化センターのリハーサル室にパネルを置いてできればいいと思う。

取り組み内容

- ・タペストリーを作ったり、絵を描いている子がいる。
- ・合唱を10～12人でしていて、三田西陵高校で発表させていただいている。
- ・社会福祉法人光耀会の主催で、狂言を年に1回ウッディタウン市民センターで行っている。
- ・以前は、版画や竹細工もしていた。
- ・市民文化祭には出展している。
- ・毎年三田学園で、約200人の生徒の前で太鼓を演奏したり、普段の生活のスライドを見ていただいている。
- ・パソコンでホームページを作って情報提供している。

提案、その他

- ・障害者スポーツもすべき。スポーツが好きでない子は週1～2回は文化的活動に時間を使えるようにすべき。余暇の充実から才能が発掘できる。
- ・余暇時間は個人個人で好きに過ごしているので、障害者間のネットワークが必要だと思う。
- ・個人で音楽教室や絵画教室に行っている人はいるかもしれない。
- ・財源は企業からの寄付もある。